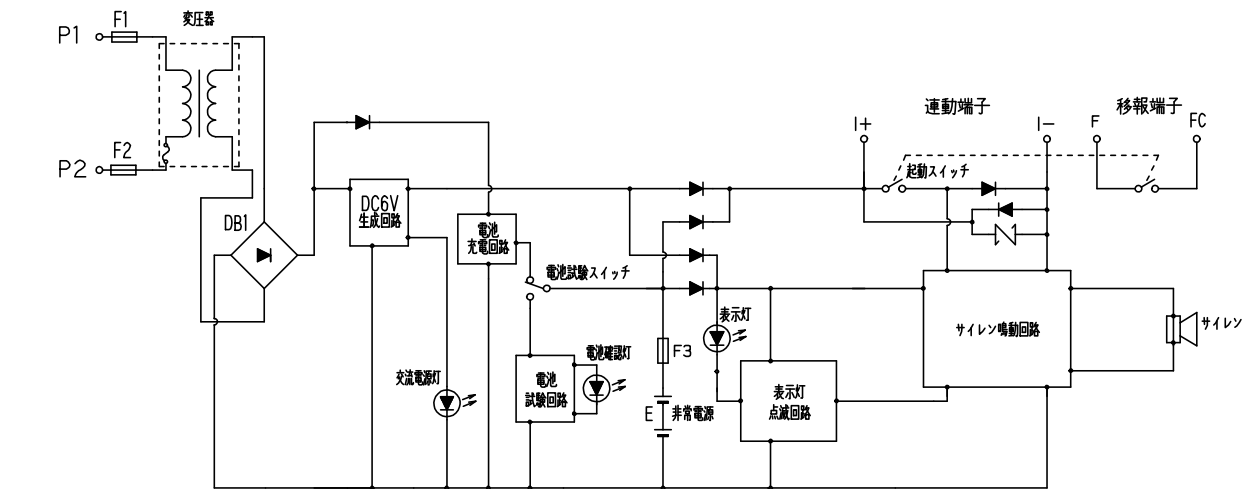


回路図

複合装置 NEB905シリーズ



非常警報設備

取扱説明書 複合装置 NEB905シリーズ

このたびは当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本装置は火災等の非常時に使用される機器で、押し釦を押す事によりその危険をサイレン音で知らせる機能を持っています。

この説明書は、本装置を正しくお使いいただくための注意事項や基本的な取扱方法・操作手順・設置工事方法などを説明しています。最後までよくお読みになり、内容を十分理解してから製品をご使用ください。また、いつも手元におき、紛失なさらないようにご注意ください。

もくじ

1. ご使用になる皆様へ
 - ・使用上の注意事項 ・各部の名称とはたらき ・平常状態
 - ・非常時の操作 ・日常の点検とお手入れ ・定期点検 ・仕様
2. 保守および点検者の皆様へ
 - ・蓄電池およびヒューズの交換
3. 施工される皆様へ
 - ・取付方法 ・コネクタの着脱方法 ・ヒューズの交換
 - ・配線長について ・設備構成および結線方法 ・回路図

1. ご使用になる皆様へ

製品を正しくお使いいただくため、あなたや他の人々の危害や財産への損害を未然に防止するためにこの説明書には、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が重傷を負うか、防災機能の一部に重大な悪影響を及ぼす事が想定される場合を表しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が障害を負うか、防災機能に悪影響を及ぼす事が想定される場合を表しています。
	「禁止」を表しています。
	「必ず行う」を表しています。

使用上の注意事項

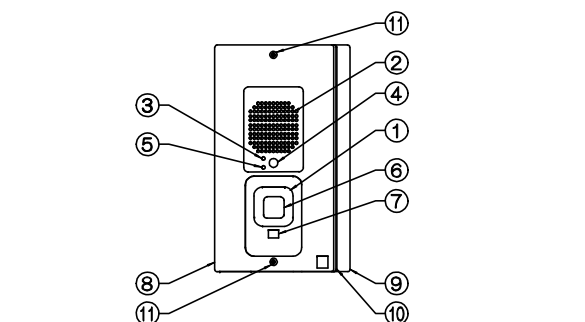
警告

- 消防設備士等の資格者以外は分解したり、本体内部に手を触れないでください。感電や故障の恐れがあります。
- 許容範囲を越えた高温の場所や揮発性ガス、腐食性ガスの発生するところや防水対策を施されていない機器を雨水のかかる所で使用しないでください。故障の原因や火災の原因となります。

⚠注意

- ❗ • 必ず定期点検を行ってください。非常時に正常に機能しない恐れがあります。
- 🚫 • 清掃時にスイッチを操作しないように充分注意してください。誤って操作すると、非常時のサイレンの鳴動に支障をきたす恐れがあります。
- 🚫 • 装置の周辺に物を置かないでください。緊急時の操作に支障をきたします。

各部の名称とはたらき



- ①表示灯
装置の位置確認を容易にするためのLEDで、常時点灯しています。起動スイッチの操作により点滅状態となります。
- ②音響孔
起動スイッチが押されたときにサイレンが鳴動します。
- ③交流電源灯
交流電源が供給されているとき点灯します。
- ④電池試験スイッチ
電池試験を行うためのスイッチです。
- ⑤電池確認灯
電池の状態を示す表示灯で、十分に充電された状態で電池試験スイッチを押したとき点灯します。
- ⑥起動スイッチ
非常時に操作します。本スイッチの操作によりサイレンが鳴動、表示灯が点滅を開始します。
- ⑦復旧レバー
サイレンの鳴動、表示灯の点滅を停止させるためのレバーです。下向きに操作することで起動スイッチが復旧します。
- ⑧カバープレート
装置表面の保護カバーです。
- ⑨露出ボックス（露出型のみ）
装置本体を収納するケースです。
- ⑩防水パッキン（防雨型のみ）
装置内部への浸水を防ぐためのパッキンです。
- ⑪カバープレート固定ネジ
カバープレートと本体を固定するためのネジです。

平常狀態

平常状態では装置の表示灯および交流電源灯が点灯しています。

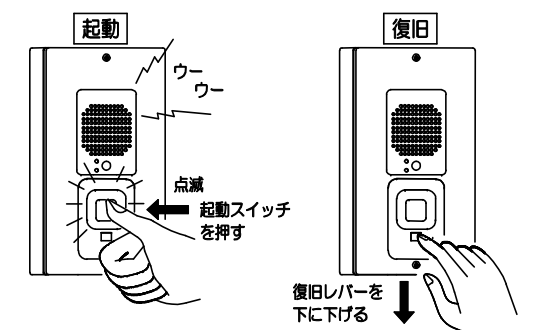
非常時の操作

⚠注意

- 起動スイッチおよび復旧レバーは必ず指で操作してください。ドライバー等で操作した場合は機器を破損する恐れがあります。

火災を発見したときは以下の操作を行ってください。

1. 起動スイッチを押す。この操作により連動している他の複合装置と共に装置のサイレンが鳴動します。また、起動スイッチが押された装置の表示灯は点滅します。
2. 現場の状況を確認すると共に、通報、初期消火、避難誘導など適切な処置を行ってください。
3. 平常状態に戻す場合は復旧レバーを操作してください。



NDC 日本ドライケミカル株式会社

6YE-07188-AP(1版)

日常の点検とお手入れ

⚠注意

⊘

・装置の周辺に物を置かないでください。緊急時の操作に支障をきたします。

❗

・装置が平常の動作状態にあることを確認してください。

❗

・装置の汚れは中性洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し固く絞って拭き取ってください。

⊘

・機器の清掃にシンナーやベンジン等の樹脂を侵す有機溶剤を使用しないでください。樹脂表面を傷めます。

定期点検

非常警報設備として、機器の信頼性、耐久性には十分留意して設計、製作していますが、万一の火災時に有効に作動できるためには、設置後の正しい維持管理が必要です。
消防関連法令では防火対象物の所有者（或いは占有者、管理者）が定期点検を実施し、その結果を報告するように定められています。

1. 点検の内容

消防設備の種類	点検の内容	点検の期間
非常警報設備	機器点検	6ヶ月
	総合点検	1年
配線	総合点検	1年

2. 報告の義務

点検の結果は維持台帳に記録し、定められた期間毎に消防長または、消防署長に報告しなければなりません。

特定防火対象物 ---- 1年に1回
上 記 以 外 ---- 3年に1回

3. 点検契約

点検には専門的な知識が必要であり、また点検器具や測定器を必要とするため、定期点検につきましては取扱店または弊社と点検契約を結び、点検資格者による点検を実施するようお願いいたします。

仕 様			
種別		複合装置	
		普通型	防雨型
商品記号	露出型	NEB905EX	NEB905EP
	埋込型	NEB905FX	NEB905FP
型式番号		認許非第2023～5号	認許非第2023～4号
主電源		AC100V 50/60Hz	
消費電力		監視時：2.5W 動作時：4W	
予備電源	種別	ニッケル・カドミウム蓄電池	
	型名	5-AA250-A（古河電池製）	
	容量	250mAh	
	充電電流	9mA	
回路電圧		DC6V	
表示灯	レンズ	自己消火性樹脂	
	LED	基板式 DC6V 20mA	
音響装置		スピーカーサイレン音 90dB以上	
起動装置		押し釦	
移報端子		DC30V 3A（無電圧）	
使用温度範囲		0℃ ～ +40℃	
接続台数		最大19台（合計20台）	
適合ボックス	露出型	専用露出ボックス	
	埋込型	4個用スイッチボックス（JIS C 8340）	
質量	露出型	約1.0kg	
	埋込型	約0.7kg	
付属品	露出型	取扱説明書（本書）：1部	
	埋込型	取扱説明書（本書）：1部 本体取付用ネジ M4×25：4本	
予備品		ヒューズ 0.1A：2本、1A：1本 ※本体ケースに付属	

2. 保守および点検者の皆様へ

⚠注意

⊘

・修理技術者以外の方は、装置の分解や改造を行わないでください。

❗

・交流電源（AC100V）は常時通電しておいてください。電源が供給されない場合は非常時に機能しません。

❗

・操作スイッチ（電池試験スイッチ、起動スイッチ）および復旧レバーは必ず指で操作してください。ドライバー等で操作した場合は破損する恐れがあります。

⊘

・通電時AC電源入力端子には手を触れないでください。感電の恐れがあります。

❗

・ヒューズは基板上の表示と照合し、必ず指定の容量（F1とF2は0.1A、F3は1A）のものを使用してください。

⊘

・カバーおよび露出ボックス等の清掃に、シンナーやベンジン等の樹脂を侵す有機溶剤の使用は避けてください。

ご注意（推奨事項）

❗

・蓄電池には寿命があります。5年を目処に交換してください。停電時正常に機能しない場合があります。

❗

・蓄電池は必ず指定品（型名：5-AA250-A 古河電池製）を使用してください。指定外品を使用すると故障あるいは異常動作の原因となります。

⊘

・使用済みのニッケル・カドミウム蓄電池は貴重な資源です。使用済みの蓄電池は廃棄せず、ニッケル・カドミウム蓄電池リサイクル協力店にご持参ください。

蓄電池およびヒューズの交換

1. カバープレートの取り外し

上下2本のネジを緩めカバープレートを本体から取り外します。

2. 蓄電池の取り外し

蓄電池を装置本体から引き出した後、コネクタのレバーを指で押しながら、接続線を軽く引いて取り外します。

3. 蓄電池の接続、収納

装置本体のコネクタに蓄電池接続線側のコネクタを差し込み電池を本体に収納します。

4. ヒューズの交換

ヒューズ切れの場合は、原因を取り除いてから取手を持ってヒューズカバーを装置本体から引き抜いてヒューズを取り外した後、付属のヒューズを取り付けて本体のヒューズ端子へ再び押し込みます。

5. カバープレートを取り付けます。

3. 施工される皆様へ

⚠注意

❗

・複合装置は起動スイッチの中心が床面より0.8～1.5mになるように取り付けてください。

⊘

・防雨型でない機種を雨水のかかる場所に設置しないでください。故障や火災の原因となります。

⊘

・電源はAC100V専用です。AC100V以外の電源は絶対に接続しないでください。故障の原因となります。

⊘

・2次側端子（連動端子（I,I-）、移報端子（F,FC））にAC100V電源を接続しないでください。内部回路が損傷し、故障の原因となります。

❗

・連動端子（I,I-）の極性は正しく接続してください。内部回路の破損や、機器が誤動作する原因となります。

⊘

・蓄電池の抜き差しを行う際はコネクタあるいは接続線に過大な力を加えないように注意してください。断線等の障害の原因となります。

❗

・カバープレートを閉める前に、必ず蓄電池のコネクタが接続されている事を確認してください。接続が不完全な場合、機器の異常につながります。

❗

・ヒューズは基板上の表示と照合し、必ず指定の容量（F1とF2は0.1A、F3は1A）のものを使用してください。

❗

・蓄電池は必ず指定品（型名：5-AA250-A 古河電池製）を使用してください。指定外品を使用すると故障あるいは異常動作の原因となります。

⊘

・カバーおよび露出ボックス等の清掃に、シンナーやベンジン等の樹脂を侵す有機溶剤の使用は避けてください。

取付方法

1. 露出型の場合

①上下2本のネジを緩めカバープレートを装置本体から取り外す。

②上下左右4箇所のM4×15ネジを緩め装置本体から露出ボックスを取り外す。

③露出ボックスを壁面に固定する。

④装置本体を露出ボックスに取り付ける。

⑤蓄電池を接続し、カバープレートを取り付ける。

2. 埋込型の場合

①上下2本のネジを緩めカバープレートを装置本体から取り外す。

②壁に埋め込まれた4個用スイッチボックスに装置本体を固定する。（付属のM4×25ネジを4本使用）

③蓄電池を接続し、カバープレートを取り付ける。

※4個用スイッチボックスには塗代カバーを使用しないでください。

コネクタの着脱方法

1. 蓄電池の着脱

装置本体のコネクタに蓄電池のコネクタを差し込み、電池を本体に収納する。取り外す場合は、電池を本体から引き出し、コネクタのレバーを指で押しながら接続線を軽く引く。

ヒューズの交換

ヒューズ切れの場合は、原因を取り除いてから取手を持ってヒューズカバーを装置本体から引き抜いてヒューズを取り出した後、付属のヒューズを取り付けて本体のヒューズ端子へ再び押し込みます。

配線長について

連動端子間を接続する電線の線径と配線長

接続台数	10台以下	10～20台	
線径（mm）	φ0.9	φ1.2	φ1.6
配線長（m）	350	700	1,100

設備構成および結線方法

1. 複数台の装置を連動させて一斉鳴動させる場合（連動端子I,I-の極性を合わせて接続してください。）

2. 装置起動時の起動信号を警備会社等へ送る場合（移報端子F,FCを接続してください。）

3. 装置を起動させた階およびそのすぐ上の階の音響装置をブロック鳴動させる場合（移報端子F,FCと直上階の連動端子I,I-を接続してください）